

ゆっくら通信

社会福祉法人ゆっくら
〒301-0834
茨城県龍ヶ崎市古城 3204
電話番号 0297-85-4301
<http://yukkora.jp/>



～新型コロナウイルスの登場で、様変わりの世界を生きる～

社会福祉法人ゆっくら 理事長 杉江 彰

2019年12月中国から始まった新型コロナウイルスの患者数は増え続け、2020年6月時点で世界の感染者数800万人、死者43万人に達しており終息の行方はわかりません。日本国内の感染者は1万7千人、死者数900人で、来年に東京オリンピック開催を目指していますが予測を許さない状況です。

今から100年前の1918年から1920年にかけてスペインインフルエンザが世界的に大流行し、世界中の感染者が数億人、死者数は8千万人。日本国内の感染者は2300万人、死者数38万6千人と記録されています。このときも、マスク、手洗い、うがいが奨励されていました。しかしこの教訓は忘れられています。1923年の関東大震災の被害の方の印象が強烈で、人々の頭からスペインインフルエンザ被害の記憶が消えてしまっています。

第2波は間違いなくやってきます。密集、密接、密着の「三密」を避ける日常生活、マスク・手洗い・体温測定がまだまだ続きます。自分だけよければ良い、ではなく助け合って生きることが求められています。

もうすでに熱中症の被害が発生しています。真夏日は、マスクを可能な限りはずして水分を補給し熱中症に注意しましょう。また昨年の千葉県の台風被害は記憶に生々しいところですが、極端気象と言われる風水害や異常高温も予想されます。猛烈な暑さは命に直結するだけに、命を守るため、新型コロナの感染予防と異なる心構えが求められます。

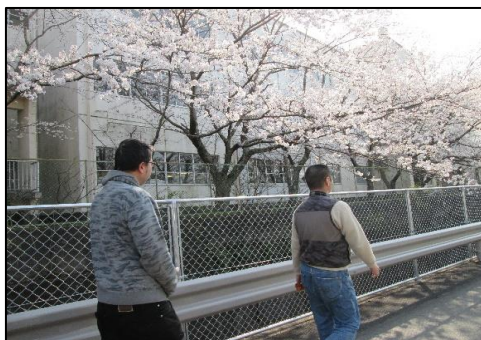


～古城の家の日常～

古城の家 川道 奈央子

じめじめとした蒸し暑い季節になってきました。2020年度が始まり、早3ヵ月が経ちました。今年度の始まりは、コロナ、コロナ、コロナ…と何をすることも制限がかかったものとなっています。

毎朝の検温から始まり、食事前の消毒、外から戻ってきた時の手洗いうがい、日常のマスク着用など、できることから感染予防対策を取っています。…。通所、通院など必要最低限の外出にとどめ、今は多くの時間を古城の家で過ごしています。



毎年恒例にしていた花見はソーシャルディスタンスを保ちながらの散歩花見にし、楽しみのお団子は古城の家に戻ってからおいしくいただきました。毎年6月に予定している外食会も、今年は外食を断念し、古城の家で少し豪華な食事会に変更です。

制限や我慢が多い中、ストレスがたまったり、不安を感じることはありますが、様々な情報をみんなで共有し、「みんなでみんなの健康を守る」「自分だけじゃないんだ」という一体感も生まれています。まだまだ長期戦です。第2波に備え、古城の家でできる事を前向きにやっていきたいと思います。



～ 自宅待機～

ゆうあいワークイン 六花さん

私は体が弱いため、緊急事態宣言より前から自宅待機をしていた。とは言え、自宅待機は自分一人だ。両親は仕事だ。どうしてだろうか？ 時間はあるのに、好きなことが出来るのに、無気力だ。時間が長い。こんなに長かったのか？

ニュースを見る。コロナの感染者数。いつ終わるの？学生たちは、スポーツ選手はどうなるのだろう。緊急事態宣言により町は静かになる。しかし、両親の仕事はテレワークが出来ない。毎日仕事に行っても大丈夫だろうか。心配だ。友達とはメールをするが、それだけ。町へ買い物に行けば6時までの看板。本を読みDVDを観てCDを聴いて飽きてしまった。人は好きなことがあっても飽きるのだと思ひ知る。

緊急事態宣言で、親が家にいる日が多くなる。ストレスが溜まりケンカをする。1週間口をきかなかった。3日くらい仕事でいなかったがストレスがたまっていたのだろう。互いに謝る。自分も悪いと自覚はあったから。でも、このケンカがよかったのかもしれない。このケンカで発散し気が楽になったのかもしれない。互いにグチって悪口を言い、ボケて笑ってぐーたらと一日を過ごすことも。そしてニュースを見る。

植物園に行きたい。動物園、水族館、プラネタリウム、映画、とにかく行きたい場所を思い描く。そして自由になって子供のようにしゃぐのだ。

それまで、一人で親の帰りを心配しながらいつも通りに待っている。

そしてコロナにかかっても一緒にかかる。一人になりたくないし、一緒に苦しみたいから。

私は人見知り一人で嫌な甘えん坊だから。

～ 花農場でのお仕事～

花農場 牧野 朋子



私について少し…地域活動センターわかばにて2年指導員として勤務。就労支援B型ともだち村にて8年メンバーと共に給食を作り、現在、就労支援B型花農場にて3年目の勤務となります。

どの事業所でも、新しく入ってきた職員、異動してきた職員を快く受け入れてくれたメンバーがいたことにとっても感謝しています。

さて、現在の花農場についてですが、吉田施設長の元、常勤職員4名、非常勤職員4名で花づくりの作業にあたっております。

メンバーの仕事について予約販売の花苗をメインに、5、6月と10、11月の年2回の繁忙期があります。

セルトレーへの種まきから始まり、土づくり、ポットへの土詰め、発芽した苗のポット上げ、

水やり、薬剤散布、肥料やり、苗の手入れ、納品苗の準備、納品、回収してきたポットの洗浄が一連の流れになります。それに付随する細かな仕事もありますが、メンバーそれぞれの得意分野を活かし花農場が成り立っています。

最近では、花苗の納品に積極的に参加してくれるメンバーも増え、お客様と会話をし、『この花苗は持ちがよくていい苗なのよね～』など、お褒めの言葉を直接いただく機会も増え、社会生活を送る上でのスキルアップにつながっているように感じます。

花農場での仕事を通して充実した生活を送っていただけるよう、これからもメンバーと共にお仕事を続けていきたいと思ひます。



事業所名	電話番号	所在地
本部	0297-85-4301	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204 2F
ゆうあいワークイン	0297-64-1335	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-10
花農場	0297-64-1393	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-11
古城の家	0297-85-4304	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204
ともだち村	0297-58-5201	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-1
ふれんず(本部)	(板橋マリナー)	〒300-2312 つくばみらい市神生530 きらくやま内
ふれんず(板橋マリナー)	0297-58-0466	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
ポランペの家	0297-57-0756	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
相談支援事業所マリナー	0297-58-3670	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
わかば	029-836-8544	〒305-0861 つくば市台町1-2-2 福祉センター内
フレッシュグリーン	029-875-3680	〒305-0861 つくば市谷田部4701-2
やたべ	080-7163-1576	〒305-0861 つくば市台町1-2-2 福祉センター内